

○ 平成 28 年度 第 8 回 『こどもの腎臓疾患』 ○

講 師：県立広島病院 小児腎臓科 藤井 寛 先生

実施日時：平成 28 年 12 月 7 日（水） 14：30～16：30

会 場：呉市保健所東保健センター

対 象 者：腎臓疾患の子どもの家族、支援関係者、関心のある方

参 加 者：9 名（家族 6 名、保健師 1 名、保育士 1 名、その他 1 名）

担当：呉市

○講演内容

①腎臓の構造とはたらき

形態と周囲の臓器との関係、機能、ホルモンなど

②原発性糸球体疾患・ネフローゼ症候群の診断と治療

診断・治療・退院後の学校生活

③血液浄化療法、移植

血液・腹膜透析の症例数、導入基準、治療の実際

移植、腎生検について



○アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「こどもの腎疾患の治療の現状などを知って今後に生かせたらと思った」

「同じ病気を抱えている方、家族のお話を聞きたかった」「藤井先生のお話を聞きたかった」

<参加された方の感想>

「とても分かりやすく教えていただけた」「専門の先生に直接質問出来て良かった」

「腎臓の仕組みや腎不全、腎移植についてなど知識を得ることが出来た」

○担当者より一言

呉市で腎臓疾患についての交流会を開催しました。同じ腎臓疾患でもお子さんの状態は様々で、長期的に腎臓移植も視野に入れていかなければならないご家族もいらっしゃいます。小児腎臓科の専門医は広島県で 3 名しかおらず、幼いお子さんの移植は首都圏での手術となるとの説明もありました。

交流会のご家族の参加は 3 組でしたが、その分医師と近い距離で相談することも出来、しっかりとお話していただけました。お子さんの予後が気になるご家族は、医師から同じ疾患で元気に経過しているお子さんのお話を聞かれて、少し安心できたとホッとされていました。対象者が少ない腎疾患はご家族が情報共有をすることも難しいようです。今回も専門医、ご家族同士の良い交流・情報収集の場となりました。

